

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サクレイトル伊勢原Ⅲ新築工事	階数	地上12F
建設地	伊勢原市桜台2丁目298番15外2筆	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、第二種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	232 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2021年6月10日
敷地面積	2,042 m <sup>2</sup>	作成者	(株)光和設計
建築面積	506 m <sup>2</sup>	確認日	2021年6月10日
延床面積	4,467 m <sup>2</sup>	確認者	(株)光和設計

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

BEE=1.0

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 83% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 83%

④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 2

LR1 エネルギー: 3

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.4

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.0

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
伊勢原駅から徒歩8分の第二種住居地域・第二種中高層住居専用地域に、住宅単一用途の共同住宅を計画をした。	0
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆の建材を使用し、室内環境の向上に努めている。	<b>Q2 サービス性能</b> 日本住宅性能、3劣化対策等級3取得予定。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 0	
<b>LR1 エネルギー</b> BEI=0.94、LED照明設備を採用。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上がりが容易に分別可能となっている。
	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率83%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される